



図書館員がおすすめる

今月の推し本



一般書

『今宵も猫は交信中』 水庭 れん／著（講談社）

宵、きせき、シュトレン、めい子の4匹は別々の家に引き取られた元保護猫の4姉妹。ごろごろと喉を鳴らしてテレパシーで会話していると、それぞれの飼い主さんが抱えている問題に気づきます。大好きな飼い主さんの役に立ちたいと悩む妹猫たちのため、お姉ちゃん猫の宵は家から抜け出して・・・。
人間たちの世界を猫の視点で描き、人知れず猫たちが活躍するハートフルな物語。猫好きにはたまらない一冊です。



児童書

『ちいさなゆめがあったなら』 ニーナ・レイデン／作 メリッサ・カストリヨン／絵 よしざわ たまき／訳（工学図書 山俣のえほん）

「ちいさなほんがあったなら、
ともだちと なまえをつけましょう。」

丘や家、庭や池、船や自転車、テーブルやイス、犬や猫。小さな女の子は自分の身近なものに名前をつけて慈しみます。名前をつけると今よりも世界がすてきで愛おしくなるような、子どもの想像力があふれる鮮やかな絵本です。
ちいさなゆめがあったなら、なんと名前をつけますか？
お子さんと語りあいながら読んでみてはいかがでしょうか。

